

ぶらり散歩 「天体ショー：皆既月食・天王星食」 (2022. 11. 8)

2022(令和4)年11月8日 夜半、皆既月食と天王星食に触れることが出来ました。月が地球の影に隠れ、あわせて、天王星が月の後ろに潜入し、姿を隠しました。

皆既月食中に、惑星が月に隠れるのは、なんと1580年7月26日、土星食、今から442年ぶりの事だそうです。日本は戦国時代、秀吉が武将として権勢を誇り、2年後には信長が本能寺で自刃しています。

次回は、2344年7月26日 土星食で322年後になります。今回の天体ショーに立ち会うことが出来たことは喜びですね。



写真は7月13日の「スーパームーン」の姿です。地球との距離は35万7,400 km で地球から最も近い位置となっている時の満月です。平均的な満月よりも大きく、明るく見えています。

大きく、夜空に輝いて見えました。

ウサギが杵を持ち、餅をついている様に見えますか ?

皆既月食・天王星食

満月の一部が陰り始めています。地球の姿が月に影を落とし、黒く映っています。
「太陽 → 地球 → 月」の配列になった時、このような天体ショーを作り出します。



月面はすっかり地球の影に入りました。「皆既月食」です。「赤銅色の月」と表現されます。

惑星の天王星は約6等星の明るさで、月が明るく見ることは難しいようですが、照度が落ちた月食時には、肉眼では難しいようですが、カメラには写りました。

天王星は月の影に隠れ、再度姿を現し、離れて行きます。

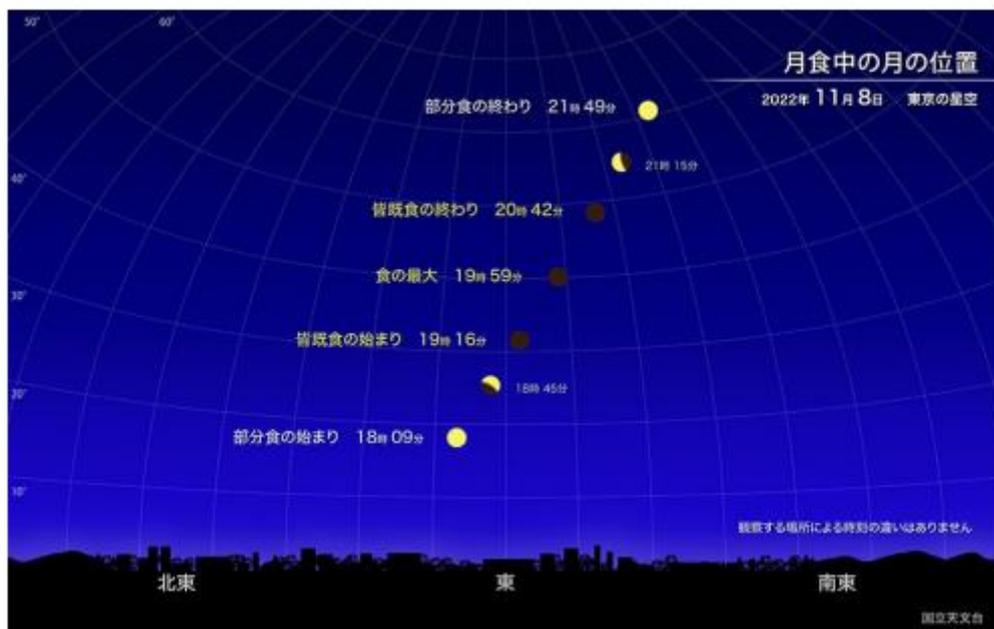


再び月面が現れました。カメラ技術が悪く、白い部分が、見えるはずの月面です。暗い部分は地球の影です。



皆既月食の時間経過です。

◆月食中の月の位置（東京の星空）



クレジット：国立天文台